



# 令和2年度 尾野見小学校グランドデザイン

志布志市立尾野見小学校

新教育課程の方針～社会の創り手となる「生きる力」を育てる

○基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得      ○思考力、判断力、表現力の育成      ○主体的に学習に取り組む態度の育成      ○個性を生かす教育の充実

**鹿児島県教育振興基本計画基本目標**  
**《基本目標》**  
 「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり  
 ～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～」

- 1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間
- 2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間



**(校訓) 明るく・強く正しく・健やかに**  
**(学校教育目標) すすんで学び みんなで伸びる おのみっ子を育てる**  
**《キャッチフレーズ》 おもいやり 花と緑の 尾野見小**

<b>&lt;教育上の課題&gt;</b> 1 個に徹した指導による学力の定着と向上 2 個性豊かで、思いやりのある児童の育成 3 体力の増進、健康や安全の保持に努める児童の育成 4 基本的な生活・学習・読書習慣の育成	<b>&lt;経営上の課題&gt;</b> 1 信頼される学校づくり 2 教育環境の整備と安全確保 3 小規模校の特色を生かした教育活動の推進 4 地域に根ざした教育活動の推進と特色ある学校づくり
---	--

**志布志の教育** ★そろえる  
**「あしたをひらく 心豊かで志あふれる人づくりと 伝統・文化のまちづくり」**

<b>きらり輝く三つのおしえ</b> ○煮しめの教え（個性の伸長） ○つけあげの教え（確かな変容） ○にぎりめしの教え（感謝の心）	<b>「志」を高める教育</b> ○向学心      ○公德心 ○感謝の心      ○敬愛の心 ○郷土愛      ○生命尊重
--	---



<b>児童の実態</b> ○明るく素直である。 ○体を動かすことが好きである。 ○協働性が身に付いている。 ○受動的で主体性に欠ける面が見られる。 ○自己表現力や創意工夫が求められる。	<b>めざす学校像</b> 1 子どもが主体となり、よさや可能性が発揮される学校 2 秩序や規律が守られ活気あふれる学校 3 花と緑に囲まれ、整然としたきれいな学校 4 家庭や地域社会の期待に応え、信頼される学校	<b>めざす子ども像</b> 1 明るく《徳》 読書に親しみ、よく動き、思いやりの心をもったおのみっ子 2 強く正しく《知》 自ら気づき、考え、課題を解決するおのみっ子 3 健やかに《体》 進んで運動に親しみ、健康で安全な生活を実践できるおのみっ子 4 学校や地域に誇りをもつおのみっ子	<b>めざす職員像</b> 1 教育愛に燃える職員 2 課題を持ち、絶えず研修に励み、自己を磨く職員 3 人間性豊かで、児童や保護者、地域住民から信頼される職員 4 時代の変化に対応し、職責感をもった職員	<b>保護者・地域の願い</b> ○豊かな人間性の育成 ○基礎学力の向上 ○体力・健康・気力の増進 ○基本的な生活習慣・社会性の確立 ○多様な体験活動（学習体験、勤労体験） ○安心・安全な学校生活と三者連携
---	--	--	--	---

<b>豊かな心育成プラン (明るく にぎりめしの教え)</b> <b>1 豊かな心を育てる多様で質の高い教育活動を推進する。</b> ○ 年間35時間の <b>道徳の時間の充実</b> を図る。 ○ 心の教育推進委員会を中心に、 <b>いじめの未然防止</b> に努める。 ○ <b>異年齢集団</b> による教育活動を推進する。(掃除、運動、緑化等) ○ 地域の人材や素材を積極的に活用する。(高齢者・ふるさとづくり委員会・公民館等) ○ <b>食農教育</b> を推進する。(さつまいも、大根、にんじん、ピーマン、なす、ミニトマト、きゅうり) ○ 保・幼・小、小・小、小・中の合同学習及び連携を推進する。 ○ 各学年の <b>目標読書冊数(低：120冊、中：100冊、高：80冊)</b> にチャレンジさせる。(学校図書・巡回図書の利用促進、必読図書の読破の奨励、毎月23日の親子読書の日の推進、家読・ノーテレビデー) ○ <b>みんなで朝の歌</b> を歌って一日をスタートする。 <b>2 明朗で思いやりやけじめのある児童を育成する。</b> ○ 学校でも地域でも「立ち止まって、相手の目を見て、頭まで」の <b>あいさつ</b> と元気な <b>返事</b> を推進する。(あいさつ運動の推進) ○ 廊下や階段を <b>静かに歩く</b> よう見届けと指導を徹底する。 ○ <b>温かい言葉遣い</b> を身に付けさせる。 ○ <b>無言</b> で時間いっぱい掃除をする。 ○ 毎月1回の <b>情報交換会</b> を実施する。(職員会議前) <b>3 保護者・地域と連携し、心に届く生徒指導を推進する。</b> ○ 家庭訪問、教育相談、学級PTA等で、保護者との連携を図る。 ○ <b>学校だより・HP・学級だより</b> 等で情報提供に努める。(学校だよりは校区全戸数配布) ○ <b>学校運営協議会・SSW・関係機関との連携を密にし、業務の効率化を図る。</b> ○ 地域公民館や市主催行事へ積極的に参加する。	<b>確かな学力定着プラン (強く正しく つけあげの教え)</b> <b>1 個に応じた目標設定と指導工夫に努める。</b> ○ <b>アンダーチーバーゼロ</b> を目指した指導の徹底を図る。(単元末テスト80点以下は再テストをし、90点以上を目指す。速読・速写・速算の推進、音読カードの活用) ○ 各学年、確実な <b>基礎的・基本的事項の定着と活学力の向上</b> を図る。(朝の学習タイムの充実 国語・算数) ○ 学年に応じた <b>家庭学習時間</b> の確保と内容の充実を図る。させるべきは必ずやり遂げさせるしつけの徹底(学習15分×学年+読書20分、「家庭学習の手引き」の活用) ○ <b>学習の仕方</b> を身に付けさせる。(授業の学習過程や学習のルール・発表話型等・宿題の工夫・予習や復習の仕方) <b>2 できる・分かる授業をめざした指導方法の改善を図る。</b> ○ 担任相互に授業参観をし、互いの指導力の向上を図る。 ○ 児童の <b>主体的な学習</b> を推進する。(問題解決学習や体験的学習の推進、学習過程の工夫、めあてとまとめの板書と整合性、児童から導き出されるまとめ) ○ 練り上げの場を工夫する。自力解決(個)→ペアやグループ→発表(全) ○ 習熟の場を確保する。(補充・発展問題) ○ <b>かごしま学力向上支援Webシステム</b> 等や教材の共有化を図り、授業準備の簡素化や効率化を図る。 ○ <b>ICT機器やタブレット</b> 等の教育機器や自作教具の活用を推進する。 <b>3 学力向上について、全校態勢で取り組む。</b> ○ <b>学力向上対策委員会</b> を月1回開催する。(職員会議時) ○ 学期末毎に漢字力・計算力テストを実施・分析し、定着を図る。 ○ 小・中連携研修会における小・小、小・中共通実践事項を徹底する。	<b>たくましい体づくりプラン (健やかに 煮しめの教え)</b> <b>1 正課体育・体育的活動の充実を図る。</b> ○ 個人の年間の課題の設定と指導方法の改善の推進を図る。 ○ (体力テストの結果分析の活用) ○ 1単位時間における <b>実活動時間を30分以上</b> 確保する。 ○ <b>一校一運動</b> の「縄跳び・持久走」の日常化を図る。 ○ 日常的な体力づくり(持久走・一輪車・竹馬・固定施設・縄跳び等)を推進する。 <b>2 主体的・継続的な体力づくりを支援する。</b> ○ 「 <b>チャレンジかごしま</b> 」への積極的な取組の推進を図る。 ○ 児童会活動の中で、昼休みの「 <b>みんなで遊ぶ日</b> 」を推進する。 ○ <b>自力登校</b> を習慣化する。(おのみふれあいロード約1キロ) <b>3 児童の健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に努める。</b> ○ <b>生活リズム</b> について、学期1回学校評価で実態を把握する。(夏・冬休みは、けんこうカレンダー) ○ <b>は・ち・つ・ほ・ぶ</b> を徹底する。 ○ <b>むし歯治療100%と歯みがき・フッ化物洗口で予防に努める。</b> ○ 教児共に危険予知能力を高め、適切な対応の仕方を身に付ける。(年3回以上の <b>避難訓練</b> ) ○ 保護者・地域住民と連携した安全指導の推進を図る。(PTA校外指導部やスクールガード等、泰野交番との連携) ○ 管理職による校内巡視と安全点検(月1回)の実施と事後処理の徹底を図る。 ○ 感染症等に対応した毎日の確実な健康把握を徹底する。
--	---	---